

新入生の皆さん、入学、誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。
また、ご列席のご家族の皆様にも、心よりお慶び申し上げます。

この島根県立大学は、その前身の島根県立国際短期大学から数えますと、今年で20年となります。今の県立大学になりましてからは、14年目となります。

この間、島根県立大学は、入学志願倍率や卒業後の就職率の高さなどから見ますと、全国有数の公立大学として発展してまいりました。

また、学生も教員も積極的に地域社会の中に入って行き、地域の方々と交流し、地域に開かれ、地域と共に歩む大学となってきたておりまして、県にとっても大変、有り難く思っております。

皆さんは、そうしたこの大学で、将来、自分はどんな道を歩んでいくのか、そのためにどのような職業につくのか、など自らの将来設計の準備をなされるわけでありませう。

今、世界の情勢を見ますと、大きな変動が起こっております。私ども大人が経験した戦後の高度成長期と較べますと、大変、難しい時代になっているように感じます。

たとえば、世界経済のグローバル化が急速な勢いで進んでいます。

中国、インド、東南アジアなど新興国が大発展の途上にあり、欧米、日本など先進国の役割も変わってきております。

そうした中で世界全体としては、エネルギーや食糧の不足、地球温暖化問題が出てきております。

また、冷戦終了後、世界はより平和になると思われていましたが、中近東、アフリカなどでは紛争が続いています。北東アジアにおいては、不安定な北朝鮮情勢や日本の周辺国との間で種々の問題が生じています。

いろいろな所で大きな変化が起こっているのです。

また、国内では、少子高齢化と人口の減少は、島根県だけではなく、大都市圏を含め日本全体で進行しています。

そして日本の経済・社会の成熟化が進む中で、多くの人々がゆったりとした生活や自然に近いところでの暮らしを望むようになっております。

かつて人口は地方から大都市部へ移動しましたが、最近は大都市部から地方に来られる人も増えてきております。人々の価値観にも大きな変化が見られるのであります。

こうした世の中の変化に、人も企業も、行政も対応していかなければなりません。学生の皆さんも、そうした変化する世界の中でどう生きていくのか、準備をしていかなければなりません。

こうした意味におきまして、新入生の皆さんには、大学において専門的な知識を学ぶことに加え、世の中の現実と変化を冷静に分析・評価する力、主体的に選択と行動する力、言わば「生きるための総合的な力」を身につけていかれることを期待する次第であります。

さて、本日、入学された皆さんの中には、県外から来られた方や、県内の出身でも、実家を離れてひとり暮らしを始める方が多数おられると思います。また留学生の方々もおられます。

島根はこれまで経済的発展がやや遅れてきましたが、一方で豊かな自然や古き良き文化・歴史がよく残され、温かい地域社会があります。このように大都市では失つつあるものが島根には数多く残っています。皆さんには、こうした島根の魅力に触れていただき、島根を好きになっていただきたいと思います。

そして、多くの友人を作り、サークル活動や地域の方々との積極的な交流を通じて、自分の可能性の幅を大きく広げられていくことを期待しております。

今後、皆さんがこの浜田の地で、そして島根の地で学生生活を大いに楽しまれながら、勉学に励まれる中で幅広い経験をされることを祈念申し上げまして、私からのお祝いの言葉といたします。